



～おたより～

第3回難聴学級担任等学習会の様子

6月8日水曜日、第3回は5校の先生方に本校に来ていただきました。まずは小学部から高等部までの授業見学後、小学部・中高部の学部説明がありました。そして難聴疑似体験もしていただきました。授業見学や教育活動の具体的な説明に対して、参加された先生方からことばの指導や読字カテストのこと、進学、受験時の配慮等多くの質問もありました。先生方が担任されている子どもさんの姿を思い浮かべながら参加されていることが伝わってきました。

「ことばのノート」とても参考になりました。自立活動はまだまだこれからというかんじですが、ご意見を聞きながら立てていこうと思います。

将来の進路を見据えて、今現在はすぐに必要でなくても知っておくべき内容だったように思います。先生方といろいろお話しできたことも有意義でした。

日々の様子などお話しすることができ、よかったです。

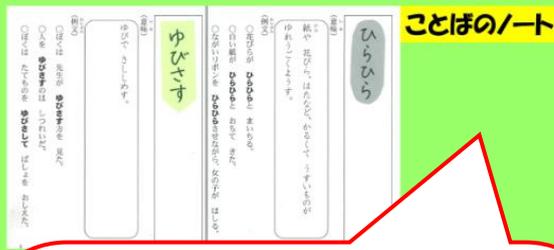
学部説明を聞き、人と関わることを大切にして学習活動をすすめてもらえることに良さを感じました。

難聴疑似体験を通して聞こえないのは不安だろうなと体感しました。子どもに寄り添って、(子どもが)困っていることを言える立場になりたいです。



授業見学&学部説明

指導の実際(小2国語「名前を見てちょうだい」)



- 国語の指導「ことばのノート」
→意味や例文は子どもがイメージしやすいものを担任が作成していました。国語辞典が使えるようになれば一緒に調べるのもいいですね。
- 大学入試の英語のリスニングの免除申請や英検のリスニング代替テストについて
→生徒の聞こえの状況等実態にあわせて検討、対応をしていくことになります。

難聴疑似体験(感想)

ノイズの流れるヘッドフォンを装着した疑似体験者を交えて、6名のグループでテーマトークをしてもらいました。会話の中味が100%は聞こえない状態で会話に参加してみて、どんなことを感じたのか、体験後に感想を述べ合っていました。

- 最初は集中して聞くけど、だんだんと聞く気がなくなった。疎外感を感じた。
- 話すときに自分の声の大きさが分からない。
- マスクもあり、一部分しか聞こえなかった。
- 会話が分からないから笑ってごまかした。
- 身ぶり手ぶりの様子から何について話をしているのか部分的にしか分からなかった。

好きな食べ物は何？

今の流行りは？

体験をしている人は…
(・_・)??

大盛り上がり(^^)

皆さんにお会いすることができてうれしかったです。

令和4年6月16日 浜田ろう学校 スタッフ一同